



文庫版

『神の微笑』

昭和 61(1986)年 7 月 20 日 新潮社
光治良 89 歳の時に執筆した書き下ろし小説。全 8 作からなる作品群の第 1 作目で、死が身近に感じられるようになり、生と死について考察した作品である。令和 6 年から新たに電子書籍版が配信されている。



軽井沢山荘全景 平成 7(1995)年 11 月
改造社懸賞小説 1 等の賞金で建てた軽井沢の別荘。毎夏避暑のためにここで過ごし、英気を養った。



軽井沢山荘の樹木

平成 4(1992)年 8 月 21 日
光治良は植物に対して愛着があり、〈神シリーズ〉における「主人公と対話する樹木」という創作のヒントになった。



軽井沢の山小屋にて

昭和 62(1987)年 8 月 18 日
91 歳の時、『神の慈愛』を刊行した頃。